

# 洞爺湖ビジターセンター 2014年度 自然ふれあい通信

洞爺湖ビジターセンター・火山科学館では毎月1回、洞爺湖周辺の自然と親しむ「自然ふれあい行事」を開催しています。その様子を少しご紹介します。

## 2月21日(土) こんぴら山スノーシュー散策



洞爺湖の周りでは例年より雪が少なく(気象庁のデータでは例年の半分ぐらいの積雪)、今年は春の訪れがだいぶ早まりそうな予感がする2月の半ばに、洞爺湖ビジターセンター自然ふれあい行事こんぴら山スノーシュー散策を行いました。冬期間は閉鎖されているこんぴら山散策路をこの日限定で歩き、2000年有珠山噴火でできた2つの火口を目指します。雪は少なめですが、スノーシューを着用して、約1時間半ゆっくりしたペースで登ります。また、<sup>なが</sup>天気が良かったので景色を眺めたり写真を撮ったりする時間を多めに取りました。



スノーシューをはいて出発!!スノーシューをはくと雪にうもれづらくなり、ラクに歩けます。



火口までの道は急な斜面が多いため、掃りは尻あべいで掃ってこられます。

噴火から約15年経ったこんぴら山は、少しずつ自然が回復していく様子が見られ、樹木の冬芽・昆虫の冬ごし・動物の足あとなど、冬の自然の様子を観察できます。樹木、草花や昆虫の種類はまだまだ少ないですが、キタキツネ・エゾタヌキ・エゾリス・エゾユキウサギ・エゾシカ・鳥類など、動物の足あとをたくさん確認できました。

目的地のこんぴら山有くん(K-A)火口では、夏はエメラルドグリーンだった水たまりが凍っており、雪と氷におおわれた白い姿を見せてくれました。

今回の行事は天候に恵まれ、冬の洞爺湖を満喫できる行事となりました。火口の地形や植生は年々少しずつ変化しており、また来年にはどこか違う景色が見られるかもしれません。こんぴら山スノーシュー散策は2016年も開催予定です。みなさまも変わりゆく冬のこんぴら山を感じてみてはいかがでしょうか。来年のご参加をお待ちしております。



こんぴら山火口から洞爺湖をバックに記念撮影。羊蹄山がばっちり見えます。きれいだったので写真も大きめに載せました。

